

平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 若山 健彦  
 (東証 JASDAQ コード : 6862)  
 問合せ先 取締役経営企画部門長 伊藤 信雄  
 (TEL 03-5847-2030)

**営業外費用（為替差損）及び法人税等調整額の計上  
 並びに業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ**

平成 30 年 3 月期決算において、営業外費用（為替差損）及び法人税等調整額を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 30 年 2 月 9 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

特に平成 30 年 3 月期第 4 四半期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）において急激な為替変動が生じ、当社グループが保有する外貨建資産価値が減少したことにより、当連結会計年度において為替差損 72 百万円を営業外費用に計上いたしました。

2. 法人税等調整額の計上について

当連結会計年度より開始した連結納税制度の適用に伴い、繰延税金資産の計上により法人税等調整額（△は益）△31 百万円を計上いたしました。

3. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異  
 （平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,000	180	150	104	14.19
実 績 値 (B)	13,886	252	176	151	20.66
増 減 額 (B-A)	886	72	26	47	
増 減 率 (%)	6.8	40.0	17.5	45.7	
(ご参考) 前期通 期実績 (平成 29 年 3 月期)	7,981	119	71	11	1.54

※1株当たり当期純利益につきましては、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で実施した株式併合の影響を考慮した金額を記載しており、提出日現在の期中平均株式数にて算出しております。

#### 4. 差異の理由

スマートフォンの大容量化に加え、クラウドサービス向けデータセンターの容量拡張やサーバー市場の旺盛な需要により、メモリーモジュール関連事業における主要製品の DIMM (Dual Inline Memory Module) 及び SSD (Solid State Drive) の主要調達部材である DRAM と NAND の需要が増大しました。NAND については新世代品の歩留り向上により、上昇を続けていた価格が落ち着いてきたものの、DRAM については半導体メーカーの投資不足の影響もあり製品の供給が逼迫し価格上昇が続きました。これらを要因として DRAM 及び NAND の需給が引き締まったことにより、製品価格の上昇及び販売数が増加し、売上高は前回発表予想と比べ 886 百万円 (6.8%) 増の 13,886 百万円、営業利益は前回発表予想と比べ 72 百万円 (40.0%) 増の 252 百万円となりました。

また、為替レートの変動により為替差損 72 百万円を計上した影響で、経常利益は前回発表予想と比べ 26 百万円 (17.5%) 増の 176 百万円にとどまりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当連結会計年度より開始した連結納税制度の適用に伴い、繰延税金資産の計上により法人税等調整額△31 百万円を計上したこともあり、前回発表予想と比べ 47 百万円 (45.7%) 増の 151 百万円となりました。

以上